平成24年5月8日

各 位

会 社 名　　株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
代表者名　　代表取締役社長　山下 徹
（コード：9613　東証第１部）
問合せ先　　ＩＲ・ファイナンス室長　金江　隆司
（TEL. 03－5546－9962）

ＮＴＴデータグループの新中期経営計画について

株式会社ＮＴＴデータは、当社グループを取り巻く状況と対処すべき課題を踏まえ、向こう４年先を展望した「新中期経営計画（平成24年度～平成27年度）」をまとめました。

1. 当社グループを取り巻く状況と対処すべき課題

国内IT投資は下げ止まりつつあるものの、引き続き抑制傾向が続くものと見込まれています。一方、新興国市場を中心にグローバルIT投資は堅調な推移が見込まれており、お客様のグローバル市場への進出も引き続き加速していることから、当社としてもグローバル市場でのビジネス拡大を図る必要があります。

また、国内ITサービス市場では、お客様や社会のニーズが多様化・高度化しており、システムを所有せず必要に応じて利用するサービス、価格低減や納期短縮への期待に合致するサービスなどに対する需要が増加しています。そのため、システムインテグレーションに頼ったビジネス構造ではなく、市場の変化に対応した多様なITサービスの拡大が課題となります。

これらに加えて当社グループは、資本提携などを通じて急速に規模を拡大しています。拡大した規模を活かすために、ガバナンスの強化を図った上で、グループ全体最適の視点から、さらなるリソースの効率的な活用、シナジー創出を実現していく必要があります。

2. 新中期経営計画

上記のような課題を踏まえ、当社グループは平成24年度～平成27年度（４ヵ年）の新中期経営計画を以下の通り策定しました。

＜３つの注力分野＞

(1) 新規分野拡大・商品力強化

お客様からの価格低減への期待に対しては、クラウドやAMOなどのITコスト削減ソリューションの拡大に取り組むとともに、より高度で複雑な業務へのIT適用を期待されるお客様の要望に対しては、ビジネス・アナリティクスやコア業務BPOなど、提供するサービスの高度化・多様化を図ります。さらに、M2Mクラウドやロボティクス事業などの新規事業開拓や、既存事業における成長やシェア拡大が見込める分野へのリソース流動などにより、当社収益の持続的な成長につながるような事業の拡大を目指します。

また、ソフトウエア開発自動化などに代表されるソフトウエア生産技術の向上や、大学などと連携した先端技術の研究開発など、新規分野拡大・商品力強化のための積極投資も進めます。

(2) グローバルビジネスの拡大・充実・強化

お客様のグローバル市場進出のサポートや、拡大が見込める海外市場の取り込みのため、空白地域へのカバレッジ拡大を目指します。また、SAP、テレコム分野など当社が得意技として保有するソリューションをグローバル横断チーム（Global One Team）で共有し、さらなる充実・強化を行います。

(3) 全体最適の追求

グローバルレベルでの業務の標準化・効率化・集約化や、グループ会社や組織の再編・統合を通じた規模を活かした経営の効率化に向けた取り組みを行います。また、激変する環境に対応した事業ポートフォリオに合わせてリソース配分を行い、さらなる成長を促進します。

＜目標＞

(1) Global TOP５

「国内の大規模 SI 事業中心の企業グループ」から「グローバルで多様な IT サービスを効率的に提供する企業グループ」へと進化し、規模を活かした最高のサービスをお客様へ提供します。

(2) 企業価値の向上

事業展開に必要な投資と、財務基盤のさらなる健全化を両立できる企業体質へと変革を行い、不安定な経済状況下においても持続的な成長を実現することで企業価値を向上します。
具体的には平成 28 年３月期において、一株当たり当期純利益（EPS:Earnings Per Share）20,000 円を目標とします。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

■ 報道関係のお問い合わせ先
株式会社ＮＴＴデータ
広報部
Tel：03-5546-8051